

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラブ宇都宮校 ANDY		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 9
○従業員評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業所向け自己評価作成日	令和 8年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを設定したうえで、子どもの発達段階や特性に応じた柔軟な支援の提供。	子ども一人ひとりに応じた適切な支援を提供できるよう、職員間で常に情報を共有し、当日の様子に合わせた臨機応変な対応を行っている。	保護者からのニーズや、家庭・学校での状況を把握し、個別支援計画に基づいた支援を引き続き行っていく。
2	家族等からの子育ての悩みに対して相談に応じ、具体的な解決策を提示することによる信頼関係の構築。	保護者との会話を通して、悩みや不安を理解し、解決できるよう、面談やコミュニケーションを取ることのできる機会を提供している。	保護者だけでなく子どもからも生活の悩みなどを聞き、職員全体で認識・共有したうえで、次の支援に繋がられるようにする。
3	子どもたちの気持ちの変化に応じたフレキシブルな対応。	子どもたちの表情や動きから、気持ちの変化をくみ取り、集団活動への参加が難しい様子であれば、個別での対応や部屋の移動を行い、気持ちの整理を促している。	気持ちが不穏になった際には、天候や曜日などある程度の見通しを立て、該当の日には決められた活動のほか、個別対応も可能な準備を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な面談回数が限られており、コミュニケーションを十分に取ることでできない保護者の方がある。	現在、6か月に一度のモニタリングでしか面談の場を設けることができず、日々の様子などは送迎時に伝えるだけになってしまっている。そのため、送迎時に直接会うことができない保護者とのコミュニケーションの機会が不足している。	保護者からの悩み事や相談などは、いつでも話ができる事業所であると、送迎時やLINEでお知らせしていく。
2	保護者参加以外の事業所内イベントに関して周知ができず、「知らなかった」と言われてしまう。	月に一度のイベントは周知ができているが、避難訓練や、季節行事の際のお楽しみ会について事前にお知らせができていないため、保護者に認知してもらうことができていない。	月ごとのイベントや、日ごとの集団活動の内容をカレンダーにし、連絡ツールで全体への周知を行う。また、月ごとのイベントに関しては、年間計画を打ち立てて周知を行う。
3	子どもの様子や事前の病歴、支援に必要な情報の共有に時間がかかる。	個々の職員間での連携・情報共有はできているが、全体での打ち合わせを行う時間が作れていない。当該児童が出席した際に職員に伝えているため、一つの情報を全体で共有するまでに時間がかかってしまっている。	保護者とのやり取りなど形に残らないものは、LINEで全体周知を行う。また、検査結果等書面で保護者からお預かりしたものは、スタッフ全員が閲覧できるように事業所内回覧板に綴じ込む。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 クラブ宇都宮校 ANDY

公表日 令和 8年 3月 31日

利用児童数 13

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0		今後も適切な活動スペースの確保を工夫してきたいと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1	0	3		職員一人に対して1~4人の児童になるように配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	2	・うちの子にはトレーニングになるので良いのが、階段を上がれない子もいるかと思う。	学習等課題活動の部屋、集団活動・その他活動の部屋と、活動によって部屋を分けています。情報の掲示やバリアフリー化については、更に工夫出来る部分は都度設備を追加していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	7	1	1	0	・職員の方が室内履きのまま玄関の外に出ている姿が見受けられるので、衛生的に改善してもらいたい。	ご指摘いただいた内容については、外履きを用意し、職員間でも注意喚起し対応させていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	1		今後も、お子様一人ひとりに沿った専門性の高い適切な支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1	0	0		子ども一人ひとりが楽しみながらチャレンジできる出来るプログラムを、更に充実させていきたいと思っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		保護者や本人の望み、必要なスキルを専門的に分析しながら、今後も作成していきたいと思っています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1		日々の支援内容等に関して目標との関連性を、保護者の方との相互理解を持てるようにより一層説明も増やしながらか、今後も支援を行ってまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		今後も一人ひとりに合った計画を作成し、職員全員で共有した上で、計画に沿った適切な支援を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	1	0	・活動内容が日誌での事後報告なので、親に事前に「こんな活動をしていこうと思う」話してもらえると良いなと思う。	職員同士で日々相談しながらプログラムを決めておりますが、ご家族の意向もより反映できるようにしていきたいと思っています。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	1	4	・公園などで会えると思うので、無理に交流の場を持つ必要を感じない。	イベント等で、利用児の兄弟などにもご参加いただき、交流する機会を設けていただいております。それ以外の機会については検討していきたいと思っています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、わかりやすい説明を心がけております。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		初回の計画作成時と半年ごとの面談の際に、個別支援計画をもとに支援内容の説明をさせていただいております。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	1		個別にご家庭での支援方法などの情報提供や相談に応じてはいましたが、今後研修会なども開催できるよう検討してきたいと思っています。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1	0	0		今後も、お子様の実態把握ができるように、今後もご家庭と連携のとれたコミュニケーションを図ってきたいと思っています。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	1		都度送迎時の相談、半年ごとに面談をさせて頂いております。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	2	今後も継続して共感的な支援を心がけていきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	0	0	2	イベント等で、保護者様やきょうだい同士でのコミュニケーションの機会を設けております。また、イベントの種類も今後増やしていけるよう検討中です。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	1	契約時に苦情申し立て窓口の説明と、日頃からの相談の申し入れを行っております。定期的に要望を聴取できるように更に整備していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0	本人との意思疎通に関しては、意思表示カード、筆記など、会話以外の方法でのコミュニケーションでも対応しています。保護者様とのコミュニケーションにはアプリでの活動内容の個別配信、メッセージでのやりとり、電話や送迎時直接の会話などの方法をご用意しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	2	施設評価の結果等はホームページにて掲載しております。今後、活動内容のブログなども随時更新していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1	個人情報については厳重に保管し、取り扱いについても社内研修にて社員への教育を行っております。もし気になる点等がございましたら責任者までお申し付け下さい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	3	各マニュアルについては策定しております。また緊急時対応を想定した確認を行っておりますが、周知の面で不十分であったことを反省し、今後お知らせをしていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	5	年2回の避難訓練を行っております。ご家庭には活動内容としての事後報告となっていたので、事前にお知らせしたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	3	屋内、屋外での活動それぞれ安全に留意した活動が出来るように、安全確認と設備管理を行っております。安全確保についての計画については、定期的にご家庭にお知らせする機会を今後設けたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0	処置が必要な怪我等が発生した場合にはご家庭へご説明を行っております。もし状況の説明等に加えてご質問があれば、お気軽にお問い合わせ下さい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0	今後も安心感をもって通所できる施設を目指して、施設運営していきたいと思えます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0	誰もが楽しみに通える施設を、今後も目指していきたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	1	頂いたご意見をもとに、さらなるプログラムの充実に向けて検討していきたいと思えます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		クラブ宇都宮校 ANDY口				公表日	令和 8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	空間を区切り、個別療育ができるスペースの確保を行っています。	物を減らし、スペースを確保できるように整備しているが、まだ充分ではないように思う。もう少し工夫していきたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	職員一人に対して最大3人の利用児になるように配置しています。	今後も継続して参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	学習等課題活動の部屋、集団活動・その他活動の部屋と、活動によって部屋を分けている。視覚的に確認できるよう、情報の掲示なども行っています。	階段や段差が多く、机や椅子の高さが現在の利用児にあっていないものもあるため、整備を検討していきたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	事業所内の清掃・消毒を毎日実施しています。	今後も清潔などに気を配り、心地よい環境を整備していきたいと思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	仕切られたスペース、オープンなスペースなど、自分の活動しやすい場所で活動できるように空間を設定して、選べるようにしています。	今後も活動しやすいスペースの拡充を目指していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	都度、職員同士で、支援方法の振り返りと改善について話し合いを行っています。	今後も継続して参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者評価の内容を職員で共有し、課題点についての今後の対応を検討をしています。	今後も継続して参ります。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	都度、職員同士で施設運営や支援方法についての意見交換を行っており、それら意見を業務改善に繋げています。	今後も継続して参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	現在、外部評価を行っていません。	今後、外部評価については検討していきたいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部機関の動画研修や、定期的な社内やグループ施設同士の研修機会を設け、日々職員の資質の向上を目指しています。	今後も継続して参ります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	専門的な視点を取り入れながら、職員全体で支援プログラムの作成を作成し、ホームページでの公開を行っています。	今後も継続して参ります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	日々のご家庭の様子や、ご家族や本人の要望、施設での活動状況などを踏まえ、本人の実態に合わせた計画を作成しています。	今後は、より客観的な分析ができるよう、各種心理検査以外にも学習障害や感覚等の検査の拡充を予定しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員全体で利用児の現状について話し合い、計画の作成を行っています。	今後も継続して参ります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画は職員全員で共有した上で、計画に沿った適切な支援を行っています。	今後も継続して参ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	KIDSや、日々の課題設定の達成状況より本人の現状を確認、記録しております。また、ご希望に応じて心理検査も行っています。	今後は、より客観的な分析ができるよう、各種心理検査以外にも検査の拡充を予定しています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	計画の各項目には、利用児の状況に合った必要な支援の目標を設定している。また目標ごとに行える限り具体的な支援の内容を記載しています。	今後も継続して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員全体で話し合い、支援プログラムの作成を行っています。	今後も継続して参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	職員同士で日々相談しながら、様々な活動に取り組めるよう月ごとにテーマを決めたりしながら考案しています。	今後も継続して参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	日々の活動には必ず個人活動と集団活動どちらも取り入れてプログラムを組んでいます。ただし、その日の利用児の状況によって無理をさせないように配慮しています。	今後も継続して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	全体での月1回のミーティングと、日々の支援開始前に役割分担とその日の支援内容について話し合いと確認を行っています。	今後も継続して参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援後に職員間での情報共有と振り返りを行っています。また、気付きなども支援記録に残しています。	今後も継続して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援内容は記録を行い、気付き、細かい様子などもアセスメントに役立てるために記録しています。	今後も継続して参ります。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に1度定期面談を行い、ご家族との現状の共有と今後の支援の方向性などを話し合い、計画の見直しを行っております。	今後も継続して参ります。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	定期的な相談支援事業所と電話モニタリングや、支援者会議には本人に理解のある担当者が対応しています。	今後も継続して参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	利用児が通っている学校の担任の先生等と、送迎時などに情報共有を行っています。また、必要に応じて各機関との支援者会議を行っています。	今後も継続して参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	学校のスケジュールは、ご家庭よりご連絡いただいています。また、送迎に関して、道路状況などで遅延しそうな場合には必ず学校へ直接ご連絡をさせていただいています。	今後も継続して参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	ご家族からのご希望に応じて、就学先の学校に情報共有を行っています。	今後も継続して参ります。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	現在、行っていません。	今後、連携の機会を設け、研修等でも協力体制が構築できるよう検討していきます。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	イベント等で、利用児の兄弟などにもご参加いただき、交流する機会を設けさせていただいています。	通所支援事業所を利用していることを公にしたいくないご家庭もありますので、それ以外の機会については慎重に検討していきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や面談時、イベントの際に保護者とコミュニケーションを図り、ニーズや家庭や施設での状況を共有しています。	今後も継続して参ります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	個別にご家庭での支援方法などの情報提供や相談をおこなっています。	今後、研修会なども開催できるよう検討していきたいと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、わかりやすい説明を心がけております。	今後も継続して参ります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的にご家庭のニーズや、本人の望みを確認しながら計画を作成しています。	保護者面談のみでは計画に本人の望みが反映されにくい現状もあるため、今後は本人との面談等の時間も設けて計画を立てていきたいと思っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	初回の計画作成時と半年ごとの面談の際に、個別支援計画をもとに支援内容の説明をさせていただいています。	今後も継続して参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時の相談対応や、半年ごとの定期面談を行っています。	現在行っている以外でも、定期的なカウンセリングを兼ねた面談も整備していく予定です。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	イベント等で、保護者様やきょうだい同士でのコミュニケーションの機会を設けています。	イベントの種類も今後増やしていけるよう検討中です。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	契約時に苦情申し立て窓口の説明と、日頃からの相談の申し入れを行っております。	定期的に要望を聴取できるように更に整備していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	施設評価の結果等はホームページにて掲載しております。予定の告知などはアプリも活用しております。	今後、活動内容のブログなども随時更新していく予定です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報については厳重に保管し、取り扱いについても社内研修にて社員への教育を行っております。	もし気になる点等がございましたら、責任者までお申し付け下さい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	本人との意思疎通に関しては、意思表示カード、筆記など、会話以外の方法でのコミュニケーションでも対応しています。保護者様とのコミュニケーションにはアプリでの活動内容の個別配信、メッセージでのやりとり、電話や送迎時直接の会話などの方法をご用意しております。	今後も継続して参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	現在、行っておりません。	今後、イベントなどを検討していきたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルについては策定しております。また緊急時対応を想定した確認を行っております。	ご家庭への周知の面で不十分であったことを反省し、今後お知らせをしていきたいと思っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画（BCP）を策定しております。また、年2回の避難訓練を行っております。	ご家庭には活動内容としての事後報告となっていたので、事前にお知らせしたいと思っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に持病、アレルギー、服薬の有無について確認しています。また、定期面談の際にも変更が無いか確認しています。その他、保護者様にも変更があった際はご連絡いただくようお願いしております。	今後も継続して参ります。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食物アレルギー児について把握を行い、原則食品の提供をしないよう対応しています。また、適切に対応出来るように職員全員に共有しています。	今後も継続して参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理に関する計画や研修を行い、屋内、屋外での活動それぞれ安全に留意した活動が出来るように、安全確認と設備管理を行っております。	定期的な確認研修が行えるように整備していきたいと思います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	現在、安全計画に基づく取組内容についてのご家庭への周知は行われていませんでした。	安全確保についての計画については、定期的にご家庭にお知らせする機会を今後設けたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	都度、ヒヤリハット発生時は職員間で共有し、振り返りと対策の検討を行っております。	今後も継続して参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を行い、日頃から全職員で支援方法について振り返りを行い、職員間で注意し合うようにしています。新たに入職した職員に対しても研修をしています。	今後も継続して参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	利用契約の際に、生命の危機に対する緊急対応としての身体拘束について、同意書を用いて保護者様への説明を行っています。スタッフ個人で判断を行わず、やむを得ない場合は施設として判断して行います。	今後も継続して参ります。